

川でむすぶ

夏井川流域
ネットワーキング

<事業報告>

- ①地方流域水循環協議会研修会 (1/30)
- ②好間地区懇談会 (2/5)
- ③令和7年度流域の会総会 (5/10)
- ④令和7年度夏井川流域住民による川づくり連絡会総会 (5/24)
- ⑤三和小学校環境学習支援 (5/28:1回目、6/12:2回目、7/9:3回目)
- ⑥意見交換会 (5/28)
- ⑦新川春の植栽 (5/31)
- ⑧第19回夏井川流域一斉水質調査 (6/1)
- ⑨第20回福島県水環境活動団体交流会 I N広野 (7/5~6)
- ⑩清掃 (3月~7月)

<お知らせ>

- ①第3回防災・水辺教室 (7/27)
- ②第11回夏井川かわくんだり (8/31)
- ③第7回夏井川沿いウォーキング (10/26)

ご挨拶

代表世話人 桶田隆司

梅雨入りしたものの、まとまった雨が少なく、連日厳しい暑さが続いております。気候変動の影響が身近に感じられるようになった昨今、会員の皆様におかれましては、熱中症や急な気象変化への備えなどに十分ご留意いただき、お元気にお過ごしのことと存じます。

令和7年度も4月から順調に活動を開始しております。地域の小学校（三和小学校）への学習支援や河川清掃、川づくりに関する行政との意見交換など、例年通りの取り組みを継続しながら、少しずつ新たなつながりも広がってまいりました。

特に7月上旬には、「県内水環境活動団体交流会」が広野町で開催され、県内の活動団体はもとより、新型コロナウイルスの影響で休止していた、「全国河川交流会」のメンバー（山口県、三重県、愛知県、新潟県）も参加され、他地域で活動されている皆様と情報や課題を共有し、交流を深める貴重な機会となりました。それぞれの地域での取り組みを知ることができ、大きな刺激

と学びを得ることができました。私たちの活動もまた、流域全体の連携の中でその役割を果たしていけるよう、今後も力を注いでまいります。

本会は「子どもたちの笑顔が見える夏井川をめざして」を合言葉に、流域住民自らが治水・利水・河川環境について考え、提案し、行動していくことを目的に活動しております。「自分たちにはできることは自分たちで」という原点を忘れず、行政や他団体とも連携しながら、地域の中で着実に歩みを進めていきたいと考えております。

これから夏本番を迎え暑い日が続きますが、親水活動や川下り、防災学習など、体験と学びを通じた様々な取り組みを予定しています。子どもたちの好奇心を育み、地域とのつながりを深める季節でもあります。子供たちの笑顔の輪が広がっていくことを願い、会員の皆様の引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

＜事業報告＞①地方流域水循環協議会研修会

田中博文

令和7年1月30日（木）三春交流会で標記研修会があり、当会から2名参加しました。当研修会は県企画調整部の主催で、ここ数年この時期に開催されています。一方で流域治水協議会（夏井川・藤原川・鮫川）が県土木部主催で開催され、当会で別々に参加せざるを得ない、という縦割り行政を感じたところです。

三春交流館では水環境アドバイザーによる他地域の活動取り組み事例の紹介と意見交換があり、先進的な事例とはいえ他地区でも同じような活動をし同じような維持管理で苦労している感が垣間見え、持続可能な整備後の利活用と維持管理の在り方について方向性が見えず（難しいのは承知ですが）残念でした。

次に三春ダム管理事務所へ移動し、ダムの役割、貯水の利活用についての説明がありました。せっかくの大きな施設なので、ただの見学場所ではなく、もっと地域に親しまれる活用が出来ないか（こちらも難しいのですが）、と感じました。民間団体としては、当会のほか荒川づくり協議会、鮫川流域ネットワークの知人も参加していました。



交流会での座学



ダム資料館での説明



ダム堤体から視察

＜事業報告＞②好間地区懇談会

井上久美子

令和7年2月5日（水）18：30～、好間公民館におきまして地区懇談会を開催致しました。呼びかけは好間地区新年会の席上での案内だけでしたが、好間を考える会のメンバーを中心に11名の地区の方々が参加下さいました。

令和元年の台風の豪雨により大きな被害を受けた好間町。豪雨の翌日は津波被害に遭ったような有様でした。ただ、区長会等の協力もあり、改修工事が早く進んでおります。

このようなことからか、好間川の昔の話や、堤防に菜の花が植えられていた話が中心になりました。好間川は川幅も狭く、堤防も急なため、親水する場所が少ない。磐越道が出来てから砂が多く川が浅くなり土砂が溜まりやすくなった。水量が減って魚が遡上できない。好間川は水道の取水口にもなっているので上流に住宅が建ち、水質の悪化が懸念される等の話が出ました。

参加者の皆さんの気持ちは 好間川を魚が遡上出来る水量を取り戻し、蜚が舞い、こどもが川で遊ぶ、昔の好間川に戻したい、です。

好間川には吊り橋、珍しいレンガで出来た鉄橋もあります。ジャンボメニューを堪能しながら、好間川を覗いてみて下さい。



桶田代表挨拶



懇談会の様子



＜事業報告＞③令和7年度夏井川流域の会総会

田中博文

令和7年5月10日（土）小野町こまち交流館にて令和7年度夏井川流域の会総会（第19回）を開催しました。流域の会は、夏井川上流から下流まで行政界を越えた流域全体の関係団体で連携して河川環境を考えようと、平成18年（2006年）に設立されました。

15時から高橋代表による基調講演として「小野町といわきとのつながり」の講演、16時から総会を開催しました。今年度は役員改選があり、これまで中流域「川前発 夏井川をきれいにしま専科」の中山代表が副代表を務めて頂いたのですが、逝去されて会自体が解散と空席となってしまう、とても残念です。総会後は同敷地で懇親会があり、例年通りの楽しいひと時でした。

流域の会はどなたでも参加でき、交流の幅が広がるので、是非ご参加下さい。参加希望する場合は、当流域ネットワークの世話人へお知らせ下さい（年会費1000円）。

【令和7年度役員】（令和7年総会～令和9年総会）

- | | | | |
|---------|--------------|-------|--------------|
| ・代 表 | 高橋宗彦（夏井川上流域） | ・監査 | 村上高一（夏井川上流域） |
| ・副代表 | 桶田隆司（夏井川下流域） | ・監査 | 先崎徳孝（夏井川上流域） |
| ・事務局・会計 | 田中博文（夏井川下流域） | ・名誉顧問 | 橋本孝一（夏井川下流域） |



高橋代表による講演



総会（議長）



総会・質疑応答



懇親会乾杯



こまち交流館と云えばBBQ



心の水(奥にはビールサーバーが)

<事業報告>④令和7年度夏井川流域住民による川づくり連絡会総会 桶田隆司

令和7年5月24日（土）、夏井川河川防災ステーションにて、令和7年度の夏井川流域ネットワーク定時総会が開催されました。

当日は以下の2議案について審議され、全て原案どおり承認されました。

- ①令和6年度事業・決算報告、
- ②令和7年度事業計画・予算案

審議終了後には、いわき地域学会 幹事の小宅幸一様を講師にお招きし、ご講演をいただきました。さらに、福島県いわき建設事務所様、いわき市土木政策課様より、近年の河川行政の取り組みについてのご説明をいただきました。

また、総会後には、現地調査として防災ステーション周辺の夏井川および新田川を視察し、現地の課題と活用の可能性について意見交換を行いました。

◆ 基調講演

講師：いわき地域学会 幹事 小宅幸一様

演題：『夏井川における水害とその対策』

小宅様からは、歴史的資料や写真を交えながら、夏井川の治水の歩みについて貴重なお話をいただきました。

【講演の主な内容】

- ・ 明治～大正期の水害対策として、霞堤（かすみてい）など住民主体の減災工夫が紹介され、夏井川の神谷地区にも霞堤があり、河川背後地に遊水機能持たせ、被害があっても肥沃な土砂が堆積して肥沃な土地になった歴



桶田代表世話人挨拶



総会の様子



小宅講師の基調講演

史があることを説明されました。また、水害避難用の小舟（救助舟）を持つ農家も多くあり、集落が孤立したときにお互いに助け合ったとのこと。

- ・昭和初期には失業対策事業として国による河川改修が行われ、夏井川でも堤防の整備や三日月湖の形成などが進められました。高度経済成長期以降には災害対策基本法が整備され、自衛隊による災害対応が制度化されるなど、治水対策の体制も大きく変化しました。
- ・一方で、地域教育に関しては、戦前の「地域を学ぶ教育」が戦後に失われたことが地域コミュニティの弱体化を招いているとの指摘がありました。特に近年の子どもたちが地域史を学ぶ機会が減少している現状に対し、小学校段階から地域に目を向ける教育の再構築の必要性が強調されました。
- ・令和元年の東日本台風（台風19号）の教訓をふまえ、過去の安全神話にとらわれず、地域住民の防災意識の醸成とともに、ハザードマップの活用や避難訓練の必要性を強調されました。
- ・質疑応答では、新川の歴史や地名の由来についての議論も交わされ、地名が災害の記憶を伝える重要な手がかりであることが共有されました。いわき市役所・県の合同庁舎付近の住所は、『梅本』と花の名前がついて良いイメージですが、実は『埋めてできた土地→埋め元』だったそうです。
- ・小宅先生の貴重な資料、写真を用いた説明で、夏井川の水害と対策の経過が良くわかりました。災害は形を変えて繰り返します。地域社会全体で防災意識の醸成と、教育・行政・市民が連携した取り組みが必要だと、改めて認識することが出来ました。
- ・夏井川流域ネットワークでは、地域で防災講座を開催する等、防災意識の醸成に向けた活動を行っていききたいと思います。

小宅様、貴重なご講演、ありがとうございました。

◆ 行政からの報告

- ・福島県いわき建設事務所 吾妻敬一 主幹からは、
 - ①東日本台風による「夏井川・好間川災害復旧助成事業」の進捗状況、
 - ②防災ステーション前の夏井川への環境護岸整備について報告があり、地域住民との協議を重ねながら整備・維持管理を進める方針が説明されました。
- ・いわき市土木政策課河川政策担当 箱崎寿幸課長補佐からは、
 - ①住民が避難の判断材料とした活用する「ワンコインセンサー」の実証実験
 - ②防災ステーション脇の新田川の護岸整備（環境に配慮）について報告され、今後も地域の意見を聴きながら『流域治水』を推進していく方針が説明されました。

◆ 現地調査

総会後には、現地調査を実施。

夏井川及び新田川の現状を確認し、防災ステーションを核とした空間の有効活用や、日常的な維持管理の課題について参加者間で共有しました。

本会では、今後も流域全体での視点を持ち、山・川・海をつなぐ活動を進めてまいります。会員の皆さまの変わらぬご協力をお願い申し上げます。



現地調査（夏井川）

＜事業報告＞⑤三和小学校環境学習支援

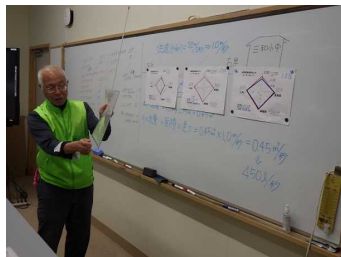
佐藤雅子

三和小学校環境学習支援（せせらぎスクール）は当会のまさしく趣意通りの事業です。山、川、海をつなぐ、実際の流域を知るため、6年生11人が山から海に向かいました。

【山】5月28日（水）好間川の水源地、雨降山に登りました。山道をいつも整備してくださっている加藤さんに、道々、山林の事を教えていただきながら、水源地を確かめました。途中の溪流では水生昆虫を採取・観察（その後放流）してきれいな川と判定されました。亡き大谷さんがこの川で水生生物を見せて熱心に子供たちに話していた姿を思い出しながら、みんなで緑の中の小さな溪流に入りました。



【川】6月12日（木）三和小・中学校の目の前には好間川が流れ、森林の緑に囲まれて自然に恵まれた環境です。いつも川底が見える澄んだ水は、人々の慰めです。この日子供たちは川で流速を測り、水生生物を採取・記録してから川に戻しました。教室で水のことを学び、流速の計算方法、4箇所の水質分析（CODパックテスト、臭い、導電率、透視度）を調べました。



【海】7月9日（水）学校前の好間川からバスで川に沿って太平洋を目指します。バスを降りての観察点は、①上流より川巾が広がったところ（好間支所近く）、②好間川が本川夏井川と合流するところ（防災ステーション付近平橋）、③横川水門工事現場（河口付近）です。水門工事の場所では県いわき建設事務所の皆さんが待っていてくれて、見学者の私たちと建設中の大きな水門をドローンで記念撮影してくれました。初体験でした（私は！）。次は河口の水辺でカニ釣り。あいにく満潮でカニのいる岩場が少ししか見えなかったのですが、皆それぞれ工夫して面白がってクロベンケイカニをつり上げていました（観察後に放流）。



6年生はこれから大人になる分岐点。この体験の記憶を大切に、人生の伴となるよう願っています。

＜事業報告＞⑥意見交換会

福島県いわき建設事務所河川砂防課 主任主査 愛川哲

夏井川流域ネットワークの意見交換会、お疲れ様でした。

普段から夏井川流域の自然や環境を守り、流域沿川の地域活性化にご尽力されている皆様と貴重な交流の機会でした。個人的には、普段なかなかお話しをする機会のない方々や古くからの知人との交流が深められたことが何よりも収穫でした。夏井川に対する熱い思いを直接聞く機会を得られたことに大変刺激を受けました。今後の河川行政に携わる者の一人として流域の声を大切にしなければと感じております。

実は、私も流域の住民です。小さい頃は仁井田川でよく川で遊び、川に学びました。仁井田川の堤防から玉山鉄道の列車に手を振っていたこと今でも思い出します。ところが気が付けば、「川はあぶないところ」などと言われ、川と接する機会が少なくなったと感じておりました。30代で転機が訪れ「川は地球の血管」と教え再び河川との交わる機会を与えてくださった方がおりました。川に携わる者として、このような機会に恵まれたのも縁です。

今回の意見交換会で得られた繋がりや気づきが、今後の夏井川流域ネットワークの活動にどのように活かされていくのか、非常に楽しみです。夏井川流域がますます素晴らしい場所になっていくことを期待しております。



桶田代表挨拶



栗田所長挨拶



意見交換後の皆さんで

＜事業報告＞⑦新川春の植栽

田中博文

5月31日（土）7：30～新川アリオス横ひょうたん島にて6月定例清掃を行ないました。親水階段・島の周りに伸びていた草を刈り、階段の泥を撤去しました。

9：00～は新川をきれいにする会と共同で、春の植栽を行ないました。東日本大震災後からの交流で広島から毎回応援に来ていただき、皆で法面の草刈りと、階段の脇の花壇に草花を植えました。

その後、当会主導で恒例の笹船競争を行ない、大人ばかりでしたが以外に盛り上がりました。丁度雨が降り始めたので、アリオスの通路で広島の方の人ついで三味線演奏とどじょうすくい披露がありました。三味線奏者のYさんは全国・海外でも活躍している方で、間近で観覧でき、皆感動していました。

次回は秋の植栽（10月頃予定）となります。





草刈り・植栽



笹船競争(決勝)



三味線演奏



どじょうすくい飛び入り

<事業報告>⑧第19回夏井川流域一斉水質調査

阿部孝男

今年も夏井川流域全調査地点27地点(本川15地点、支川12地点)を対象に6月1日(日)に小川公民館で、参加人数は当会会員を含め24名で行いました。子どもたちの参加が少なかったことは残念でしたが、江東微生物研究所の方々がお子さん連れで参加して頂きました。

採水した27地点の検水を手際よく項目ごとに分析し全箇所を記録することが出来ました。

6月5日の世界環境デーに合わせた身近な水環境の全国一斉調査も今年で22を迎え夏井川流域の会主催の一斉水質調査も今年が19回目で、さらにこの調査は福島県環境創造センターで実施している「せせらぎスクール」にもエントリーして行っています。



調査27地点を示したマップ

現地小川公民館での計測は「COD(パックテスト)」「導電率」「におい」「透視度」を行いました。高専の学生さんや初めて水質分析する方多くみなさん興味深く行っていました。

分析結果は調査一覧表にまとめた他、水の汚れの様子が一目でわかるレーダーチャートを作成し、上流から下流までの水の汚れていく様子や自浄作用による回復する様子が確認できました。



パックテストなどの様子



透視度計測の様子

他に室内試験 **COD、BOD、pH、導電率等**を福島高専さんに、河床土砂の**放射性物質計測**をパルシステムさんをお願いしましたが、現時点で計測結果が出ていないため記事には現地計測結果のみを掲載しました。

調査結果は、次項結果表に示すとおりですが、傾向としてはやはり小野町周辺の若干水質悪化～夏井川渓谷での良好な状態～下流域での水質悪化傾向が例年通りみられました。

令和7年度 夏井川流域一斉水質調査 結果表

実施日:令和7年6月1日(日)、午前10時 採水 天候:曇り～雨 実施主体:夏井川流域の会							
NO.	河川名	採水地点	現地計測結果	現地一斉試験結果:小川公民館			
			水温	CODバックテスト (3回平均値)	導電率	におい	透視度
			℃	mg/L	μS/m(*)	どんなにおい?	cm
1	夏井川(本川)	神俣・滝根中前	14.1	1.67	8.94	なし	100cm以上
2	梵天川	夏井川合流前	15.0	3.33	19.70	少しにおう	100cm以上
3	夏井川(本川)	梵天川合流後	14.4	2.67	14.52	なし	100cm以上
4	右支夏井川	飯豊	15.1	4.00	12.25	弱いワラ臭	26cm
5	右支夏井川	小野町役場裏	15.5	3.00	13.60	弱い(泥・草臭)	60cm
6	夏井川(本川)	夏井1小前	15.6	3.33	14.20	なし	45cm
7	夏井川(本川)	五味沢	17.2	3.00	15.64	なし	100cm以上
8	夏井川(本川)	三坂川合流前	17.6	3.00	15.78	なし	100cm以上
9	夏井川(本川)	三坂川合流後	16.8	3.33	14.49	土の臭い	100cm以上
10	夏井川(本川)	鹿又川合流前	18.1	3.33	14.57	泥水のにおい	100cm以上
11	鹿又川	夏井川合流前	17.3	3.00	4.65	なし	100cm以上
12	夏井川(本川)	加路川合流前	15.2	3.33	10.82	なし	74cm
13	加路川	夏井川合流前	14.9	1.33	5.62	なし	100cm以上
14	夏井川(本川)	小川公民館前	15.8	3.67	10.83	微藻臭・微土臭	56cm
15	小玉川	夏井川合流前	16.9	2.00	12.10	なし	85cm
16	夏井川(本川)	久太夫橋	17.1	3.67	11.50	少し土の臭い	47cm
17	茨原川	貉(ムジナ)橋	16.3	2.00	32.40	下水臭	72cm
18	夏井川(本川)	愛谷堰下	16.3	3.00	12.70	なし	48cm
19	夏井川(本川)	磐城橋	17.5	2.67	17.71	弱い	14.5cm
20	好間川	松坂つり橋	17.0	2.00	16.00	なし	100cm以上
21	好間川	北目	18.0	2.33	20.60	弱い・わずか	98.5cm
22	夏井川(本川)	鎌田	17.8	4.00	12.74	弱い・わずか	59.5cm
23	新川	阿弥陀堂前	16.1	3.00	33.80	なし	100cm以上
24	新川	いわき総合高校前	17.5	3.00	44.60	なし	100cm以上
25	新川	古川橋	16.8	4.33	47.20	なし	70cm
26	夏井川(本川)	六十枚橋	16.9	2.00	17.40	なし	65cm
27	夏井川(本川)	河口	17.2	2.67	103.00	弱い(葉っぱのにおい)	56cm

(*)導電率の単位: μS/cm(マイクロジー・メンス パー センチメートル) ※COD値はバックテスト3回の平均値

昼食をはさんで午後の水生生物調査を行う前に雨の様子を見ながら“水生生物親子当てクイズ”を行いました。子供たちは生き物当てのカードゲームに夢中になっていました。

雨の合間を縫って今年も公民館近くの支流の下田川で水生生物調査を実施しました。

採れた水生生物は、ヘビトンボ、カワゲラ類、カゲロウ類、ヒゲナガカワトビケラなどの水質階級Ⅰに棲む生物が殆どで、夏井川周辺の小川地区の水質は非常にきれいな水であることが分かりました。



生き物親子当てゲームの様子



水生生物調査の様子



全国の水質調査結果については「身近な水環境の全国一斉調査(みずとみどり研究会) <http://www.japan-mizumap.org/>」に報告済みで、全国の集計は12月ごろになるようです。

参加者のみなさん、スタッフのみなさんお疲れ様でした。

分析にご協力いただきました
福島高专さん、パルスシステムさん
大変お世話になりました。

子供たちの笑顔が見える夏井川、
子供たちの歓声が聞こえる夏井川を
目指して今後も継続していきたい
と思いますので来年もよろしくお願いします。



<事業報告> ⑨第20回福島県水環境活動団体交流会IN広野

阿部孝男

今年で20回目を迎えた福島県水環境活動団体交流会は広野町で7月5日（土）と6日（日）の2日間に亘り行なわれ、交流会参加者が約70名で開催されました。

今回はしばらく休止していた「全国河川愛護団体交流会」の方々にも声掛けしたところ、山口県、三重県、岐阜県、新潟県からの参加があり懐かしい顔ぶれにお会いすることができました。

1日目の交流会は、ハタゴイン福島広野にて福島県水環境活動団体交流会会長の高橋宗彦氏の開会挨拶～来賓挨拶に始まり、基調講演（川の授業-1）は『ふたば未来学園の取組と水環境を通じた学びについて』と題し、広野町にある福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校の對馬 俊晴校長がふたば未来学園創設時からの経緯や学園の教育方針、学校が目指している文武両道に加えた“変革者たれ”の精神、さらに地元環境活動団体などとの係わりによる生まれる実体験での気づきと人間形成を重視したお話など非常に興味深い講演でした。

（川の授業-2）は『宇多川の整備における河川環境の保全・創出について』と題して、福島県相双建設事務所専門員の湯田裕一郎氏から、河川環境に配慮した河川整備についてお話しされ、続いて『相双地方の河川・海岸復旧について』と題し、福島県富岡土木事務所の上妻彰男次長が東日本大震災後の相双地区の河川・海岸の復旧状況について説明されました。

事例発表では以下の4団体から各団体の活動状況や年の状況報告もありました。

事例発表① 木戸川漁業協同組合（檜葉町）鮭孵化場場長 鈴木 謙太郎氏

事例発表② 佐波川こいながし（山口県）代表世話人 石光 徹氏

事例発表③ NPO 法人堀割再生まちづくり新潟（新潟県） 代表 川上 伸一氏

事例発表④ NPO 法人浅見川ゆめ会議（広野町） 副理事長 阿部 孝男

続いて「桑名堀めぐり（三重県）」「木曽川研究会（岐阜県）」「福島大学（福島市）」「鮫川流域ネットワーク（いわき市）」「荒川づくり協議会（福島市）」「遊水会（須賀川市）」など各地から駆け付けた団体の代表から最近の話題や課題などについてお話がありました。



交流会の様子



集合写真

この交流会でのいつものお楽しみの夜の部の意見交換会（懇親会）は、県外から参加した懐かしい顔ぶれもそろい、また恒例の各地からの差し入れの“命の水”は例年になく多く集まり活気のある交流と思い想いを語り合いました。

話がつきないまま同じ会場を延長して2次会へ、ホテルの通路空きスペースで3次会、さらに部屋飲みへと続き夜が更けていくのでした・・・（いつも通り）



集合写真 その2



夜の部の意見交換会（懇親会）

2日目の現地視察は、浅見川河口で浅見川ゆめ会議理事長の鈴木正範氏から“奥州日の出の松”の謂れを聞き、太平洋を見渡しながら防災緑地でサポータークラブの活動を伺い見学しました。

その後、富岡町にある「東京電力廃炉資料館」で福島第一原子力発電所の廃炉作業に向けての状況などを見学しました。



現地視察出発前集合写真



浅見川河口奥州日の出の松



広野防災緑地



地元産食材での昼食

最後は広野町長畑集会所（NPO 法人浅見川ゆめ会議の活動拠点）で地元食材を使った昼食を堪能し、ハタゴイン福島広野に戻り解散となりました。

次回開催は来年6月ごろ「猪苗代」で開催されます。

また、全国交流会は11月ごろ「山口県防府市」で開催されることが決定しましたので、来年またお会いしましょう。

交流会の様子は夏井川流域ネットワークのホームページにも掲載されていますのでご覧ください。
<http://blog.natsuigawa-karyu.net/>

<事業報告>⑩清掃(3月～7月)

田中博文

当会では、基本毎月第一土曜の朝7時30分から清掃活動（草刈、ごみ拾い、泥上げ等）を行っています。清掃場所は、当会の事業に係わる場所、小学校環境学習支援を行っている場所を中心に、①夏井川河口サイクリング公園脇の親水広場、②夏井川河川防災ステーション周辺、③新川アリオス横のひょうたん島

の3箇所のうちのいずれかを交互に実施しています。清掃活動は平成22年（2010年）から開始して、月に2回実施していた年もありましたが、現在は毎月一回（極寒期の1月・2月は除く）を定例清掃として何とか継続しています。そのため、前回実施した場所は2～3ヵ月後となるので、草が伸びて元通り以上となり毎回四苦八苦しています。集めたゴミは、1～2袋と少ない場合は個人で家庭収集日に出していますが、3袋以上と多い場合は市資源循環推進課に回収依頼しています。

会報前号（1/8）～本号発行日（7/18）までの清掃活動は下表のとおりです。（1～2月は休止）

月日	区分	清掃場所	内容	参加者数	備考
3/ 1(土)	3月定例	新川ひょうたん島	水路泥上げ・ゴミ拾い	7名	
4/ 5(土)	4月定例	夏井川防災ステーション	ごみ拾い・倉庫片付け	7名	
5/ 3(土)	5月定例	夏井川河口親水広場	草刈り・ゴミ拾い	7名	一部冠水していた
5/31(土)	6月定例	新川ひょうたん島	草刈り・土砂撤去・ゴミ拾い・植栽	7名	新川秋の植栽
6/28(土)	7月定例	夏井川河口親水広場	草刈り・ゴミ拾い	7名	
7/12(土)	臨時	新川ひょうたん島	草刈り	2名	新川の会と共同



ひょうたん島の水路



防災ステーション



河口親水公園



清掃にかかる時間・きれいになる範囲は、参加人数に左右します。当会では60歳代を若手、70歳代を中堅と呼び、戦力の柱です。道具等は事務局が準備しますので、多くの方の参加をお待ちしています。

◆今後予定 午前7:30～（1時間半程度）

- ・ 7/26(土)【8月定例】夏井川河川防災ステーション 草刈り・ごみ拾い
- ・ 8/30(土)【9月定例】夏井川河口親水公園 草刈り・ごみ拾い
- ・ 10/ 4(土)【10月定例】夏井川河川防災ステーション 草刈り・ごみ拾い
- ・ 11/ 1(土)【11月定例】新川アリオス横ひょうたん島 草刈り・ごみ拾い・土砂撤去
- ・ 12/ 6(土)【12月定例】夏井川河口親水公園 草刈り・ごみ拾い

※日時・場所が変わる可能性があるのもので、世話人または当ホームページで確認下さい。

※小雨決行ですが、雨天は中止です。上記予定の他に「臨時清掃」を行なう場合もあります。

<お知らせ>

親子向けの下記行事あります。募集定員ありますので、早めに事務局または世話人へお知らせ下さい。いずれも小雨は決行ですが、荒天は中止となります。

①第3回防災・水辺教室

座学と新田川で水生生物調査等を行ないます。

- ・日 時 7月27日（日）9：00～12：10（受付8：40～）
- ・場 所 夏井川河川防災ステーション（好間町川中子字落合 96-2）
- ・内 容 防災講座、川遊び講座、水生生物調査、笹船競争
- ・各自準備 飲み物、帽子、水用靴、着替え（着替えテントあります）
- ・参加費 無料
- ・定 員 先着15名
- ・申込期日 7／23（水）まで

②第11回夏井川かわくだり

二人乗りカヌーもあり水も穏やかなので親子で楽しめます。下記時間帯でどの時間でもOKです。

- ・日 時 8月31日（日）10：00～14：00（受付9：30～）
- ・場 所 夏井川河口右岸親水公園（平下大越地内：ターゲットバードゴルフ場の奥）
- ・内 容 カヌー教室・体験、サップ体験、アクアボール、カニ釣り体験
- ・各自準備 飲み物、帽子、水用靴、着替え（着替えテントあります）
- ・参加費 保険500円、昼食BBQ 希望は2000円（保険500円+BBQ1500円）
- ・定 員 先着30名
- ・申込期日 8／19（火）まで

③第7回夏井川沿いウォーキング

途中で史跡等の解説や休憩を交え、約5kmをゆっくり歩きます。

- ・日 時 10月26日（日）9：15～12：00頃（受付9：00～）
- ・場 所 【集合】東北電力夏井川第二発電所付近駐車場（小川町上小川字川上：会の旗あり）
【ゴール】川前公民館（予定） ※帰りは会員車でスタート地点へ戻ります。
- ・内 容 夏井川沿いの風景を楽しみながらウォーキング（河口から源流を目指します）
- ・各自準備 飲み物、帽子、歩きやすい靴、昼食、カップ（折畳み傘）【昼食後解散となります】
- ・参加費 無料
- ・定 員 先着20名
- ・申込期日 10／22（水）まで

※予定が変更となる場合がありますので、ホームページでご確認下さい。

<事務局より>

■年会費の納入をお願いします

年会費未納な方は会費の納入をお願いします。

あわせて、新規会員の募集について周りの方々へお声かけなどご協力をお願いします。

■会報に記事を投稿してみませんか

当会は住民の立場で川に関して見て、考え、行動していこうとする会なので、皆様のご意見や希望、情報等についての記事投稿をお待ちしています。どなたでも構いませんので、事務局または世話人へお知らせ下さい。但し、投稿頂いた記事は世話人会で内容精査してからの掲載となります。

■世話人会に参加してみませんか

当会は毎月第1火曜日に夏井川河川防災ステーションにて「世話人会」（18：30～）を開催し、事業の反省や今後の在り方など、いろいろな話し合いを行っています。会議時間は1時間程度で、誰でも参加できますので、是非ご参加ください。

行事都合により開催日・場所が変更となる場合がありますので、事務局または世話人へご確認下さい。

〜〜 会員の皆様からのご意見・御寄稿をお待ちしております 〜

（活動報告・行事予定は下記[ホームページ](#)でも案内しています）



【会報 第64号】 2025. 7. 18

発行 : 夏井川流域住民による川づくり連絡会（略称:夏井川流域NW）
代表世話人: 桶田隆司 okedata@green.ocn.ne.jp Tel)090-6780-1117
事務局 : 田中博文 tanaka@tisitu.co.jp Tel)090-2797-7856
〒972-8311 いわき市常磐水野谷町亀ノ尾171地質内 Fax)88-8907
ホームページ : <http://blog.natsuigawa-karyu.net/> 夏井川流域で検索